

青森県景気ウォッチャー調査 (令和4年4月期)

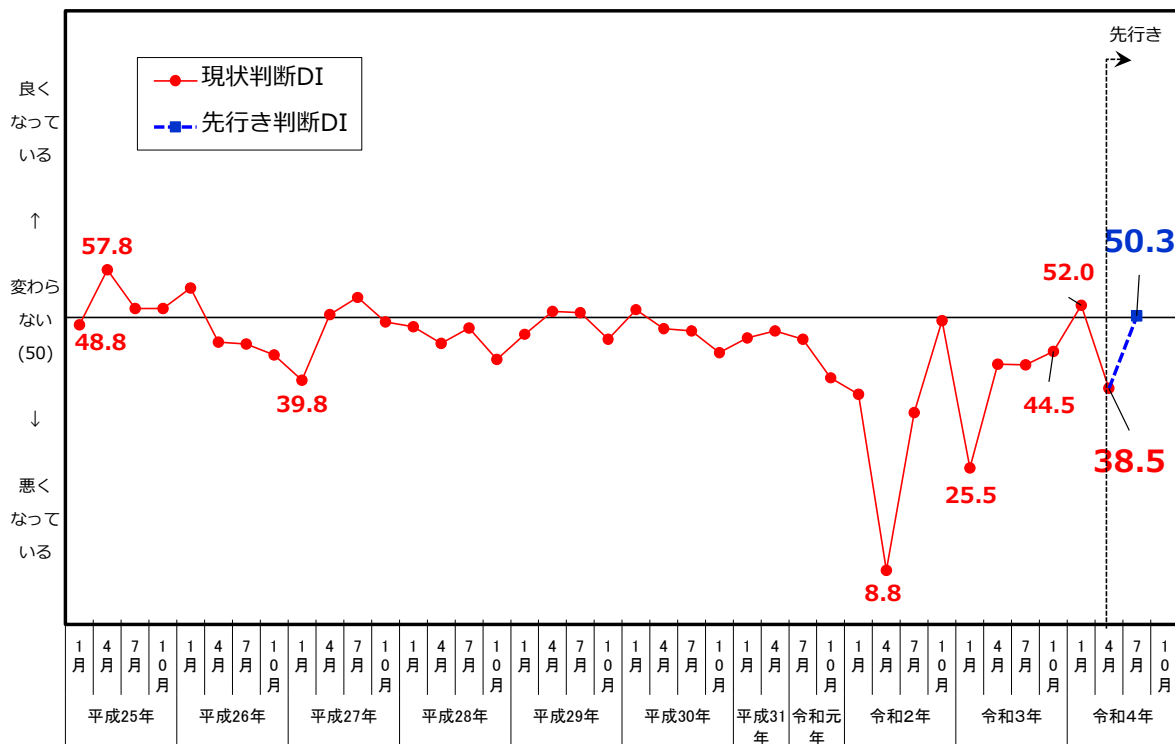
調査期間 令和4年4月1日～4月19日 回答率 98%

概 況

4月期の景気の現状判断DIは38.5となり、前期から13.5ポイントの低下となり、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに下回った。

先行き判断DIは、現状判断DIと比べて11.8ポイント上昇の50.3となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



令和4年4月

青森県企画政策部統計分析課

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイント上昇、「やや良くなっている」が26.7ポイント低下、「変わらない」が5.8ポイント上昇、「やや悪くなっている」が10.5ポイント上昇、「悪くなっている」が9.4ポイント上昇となった。

全体では38.5となり、前期から13.5ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに下回った。

判断理由では、前年(前期)と比べ売上が改善しているとの声がある一方で、コロナ禍の影響に加え、原油高や原材料、食品等の価格高騰が進み消費や経済活動が冷え込んでいるとの声が多かった。また、ロシアのウクライナ侵攻による影響が、原油・原材料等の高騰にさらに拍車をかけるとの声や、海外情勢への不安を挙げる声もあった。津軽地域においては、今年1月から3月にかけて適用されたまん延防止等重点措置の解除後も客足が戻らないとの声もあった。

② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で13.6ポイント低下、企業関連で11.1ポイント低下、雇用関連で17.9ポイント低下となった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区で低下し、景気の横ばいを示す50を下回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が2.1ポイント上昇、「やや良くなる」が18.3ポイント上昇、「変わらない」が5.1ポイント低下、「やや悪くなる」が6.1ポイント低下、「悪くなる」が9.2ポイント低下となった。

全体では50.3となり、今期調査の現状判断DIと比べて11.8ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。

判断理由では、さくらまつりをはじめとしたイベント等の開催を歓迎する声や、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進むことによる経済活動の活発化を期待する声がある一方で、原油の高騰や物価上昇が消費や経済活動に悪影響をもたらすことへの懸念や、海外情勢の不安定さによる経済的影響がこれまで以上に出てくるとする声が多くみられた。また、感染拡大の終息が見えないといった不安を挙げる声もあった。

② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で12.3ポイント上昇、企業関連で5.6ポイント上昇、雇用関連で21.5ポイント上昇となった。

③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、全地区で上昇し、東青、津軽、下北で景気の横ばいを示す50を上回った。

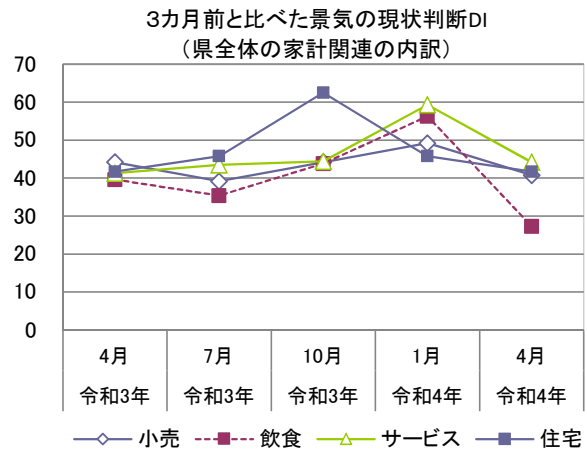
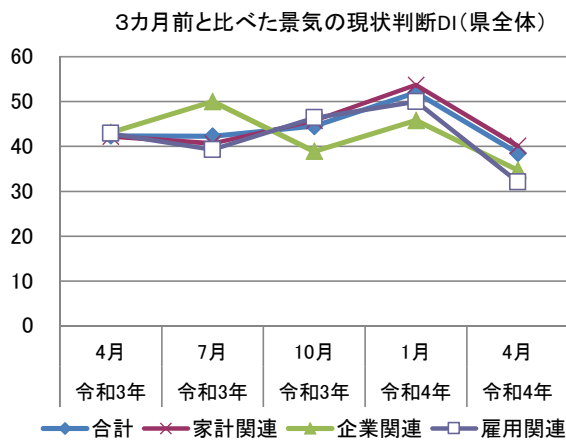
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

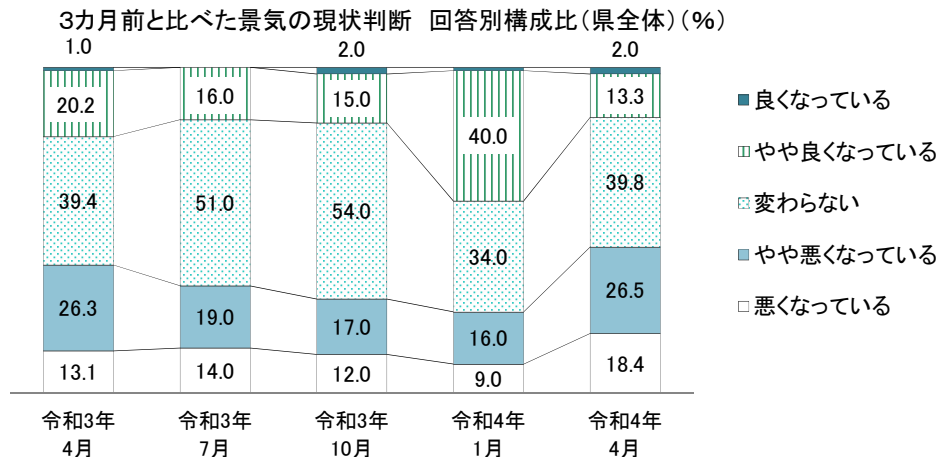
n = 98

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合計	42.4	42.3	44.5	52.0	38.5	▲ 13.5
家計関連	42.2	40.7	45.7	53.7	40.1	▲ 13.6
小売	44.2	39.2	44.2	49.2	40.8	▲ 8.4
飲食	39.6	35.4	43.8	56.3	27.3	▲ 29.0
サービス	41.3	43.5	44.4	59.3	44.2	▲ 15.1
住宅	41.7	45.8	62.5	45.8	41.7	▲ 4.1
企業関連	43.1	50.0	38.9	45.8	34.7	▲ 11.1
雇用関連	42.9	39.3	46.4	50.0	32.1	▲ 17.9



②回答別構成比 (%)

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
良くなっている	1.0	0.0	2.0	1.0	2.0	1.0
やや良くなっている	20.2	16.0	15.0	40.0	13.3	▲ 26.7
変わらない	39.4	51.0	54.0	34.0	39.8	5.8
やや悪くなっている	26.3	19.0	17.0	16.0	26.5	10.5
悪くなっている	13.1	14.0	12.0	9.0	18.4	9.4



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 98

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合 計	51.3	53.3	63.3	47.8	50.3	2.5
家計関連	53.4	53.3	64.7	49.0	52.4	3.4
小売	52.5	48.3	62.5	50.8	50.8	0.0
飲食	56.3	64.6	68.8	41.7	56.8	15.1
サービス	54.8	58.3	68.5	49.1	57.7	8.6
住宅	45.8	33.3	50.0	54.2	29.2	▲ 25.0
企業関連	43.1	52.8	55.6	38.9	40.3	1.4
雇用関連	50.0	53.6	67.9	57.1	53.6	▲ 3.5

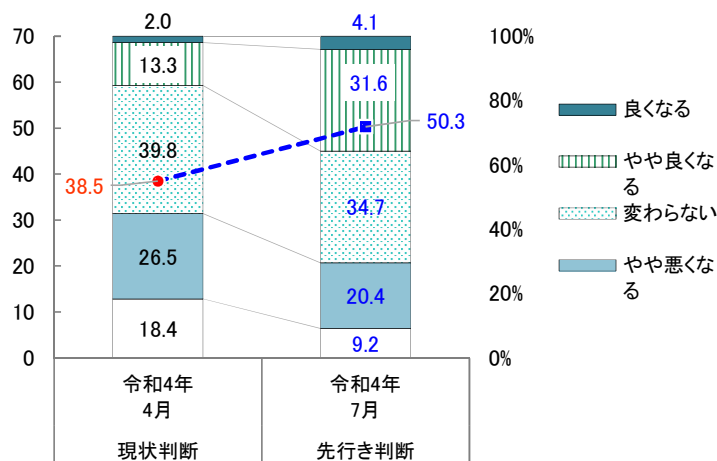
③ 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
合 計	38.5	50.3	11.8
家計関連	40.1	52.4	12.3
小売	40.8	50.8	10.0
飲食	27.3	56.8	29.5
サービス	44.2	57.7	13.5
住宅	41.7	29.2	▲ 12.5
企業関連	34.7	40.3	5.6
雇用関連	32.1	53.6	21.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
良くなる	2.0	4.1	2.1
やや良くなる	13.3	31.6	18.3
変わらない	39.8	34.7	▲ 5.1
やや悪くなる	26.5	20.4	▲ 6.1
悪くなる	18.4	9.2	▲ 9.2

現状判断と先行き判断との比較(県全体・合計)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

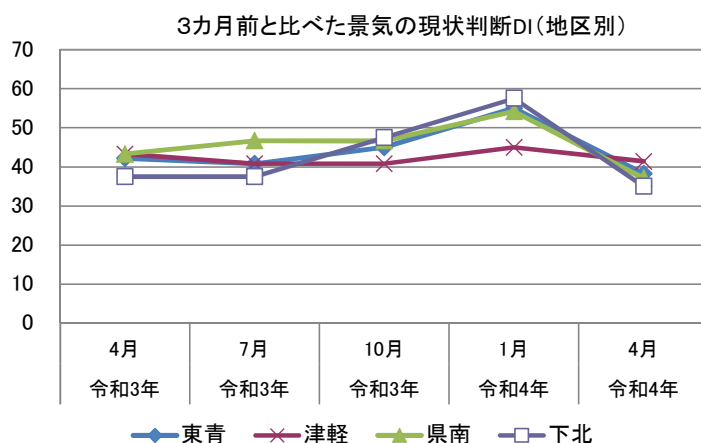
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

① D I

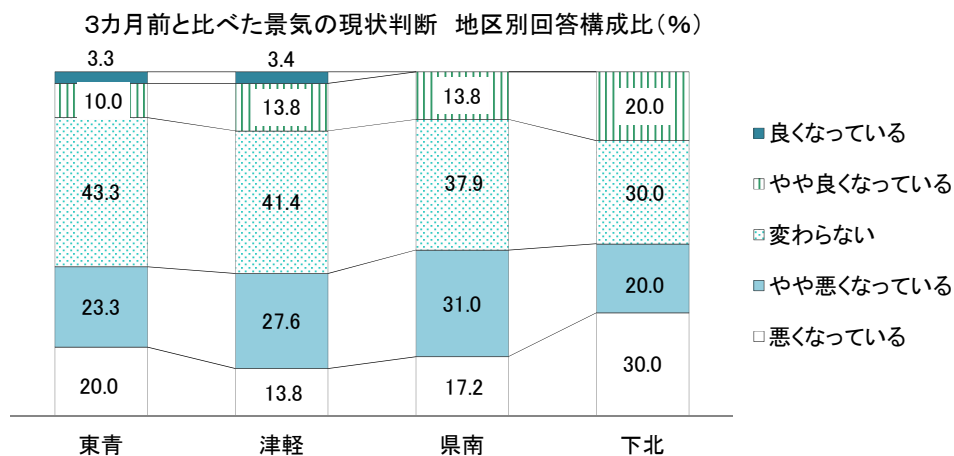
n = 98

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	42.4	42.3	44.5	52.0	38.5	▲ 13.5
東青	42.2	40.8	45.0	55.0	38.3	▲ 16.7
津軽	43.3	40.8	40.8	45.0	41.4	▲ 3.6
県南	43.3	46.7	46.7	54.2	37.1	▲ 17.1
下北	37.5	37.5	47.5	57.5	35.0	▲ 22.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	3.3	3.4	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	13.8	13.8	20.0
変わらない	43.3	41.4	37.9	30.0
やや悪くなっている	23.3	27.6	31.0	20.0
悪くなっている	20.0	13.8	17.2	30.0



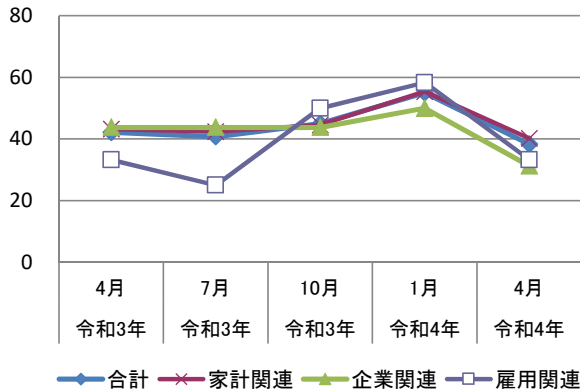
<東青地区>

① D I

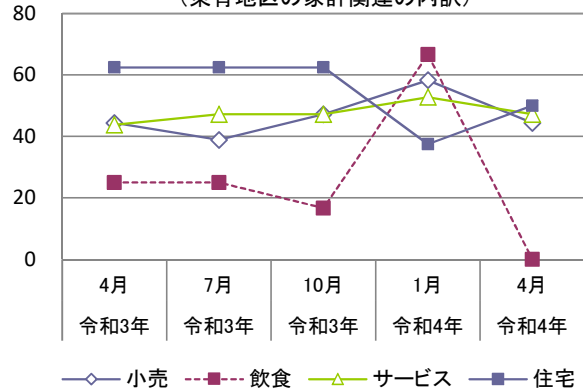
n = 30

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	42.2	40.8	45.0	55.0	38.3	▲ 16.7
家計関連	43.2	42.4	44.6	55.4	40.2	▲ 15.2
小売	44.4	38.9	47.2	58.3	44.4	▲ 13.9
飲食	25.0	25.0	16.7	66.7	0.0	▲ 66.7
サービス	43.8	47.2	47.2	52.8	47.2	▲ 5.6
住宅	62.5	62.5	62.5	37.5	50.0	12.5
企業関連	43.8	43.8	43.8	50.0	31.3	▲ 18.7
雇用関連	33.3	25.0	50.0	58.3	33.3	▲ 25.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



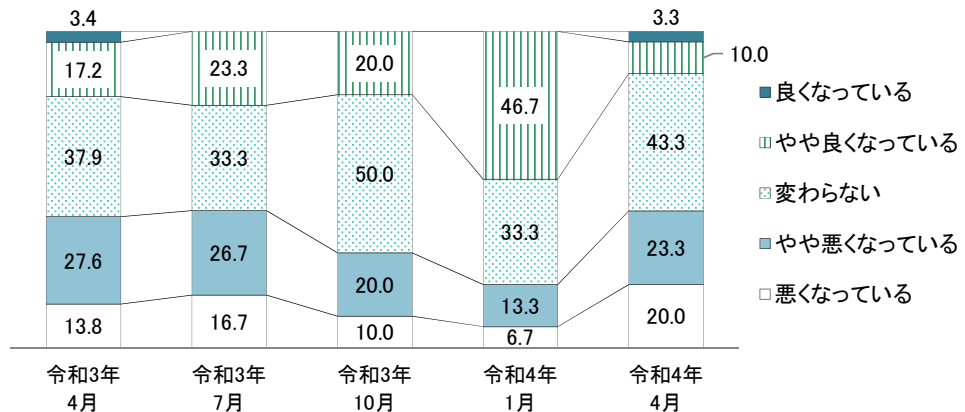
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
良くなっている	3.4	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	17.2	23.3	20.0	46.7	10.0	▲ 36.7
変わらない	37.9	33.3	50.0	33.3	43.3	10.0
やや悪くなっている	27.6	26.7	20.0	13.3	23.3	10.0
悪くなっている	13.8	16.7	10.0	6.7	20.0	13.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



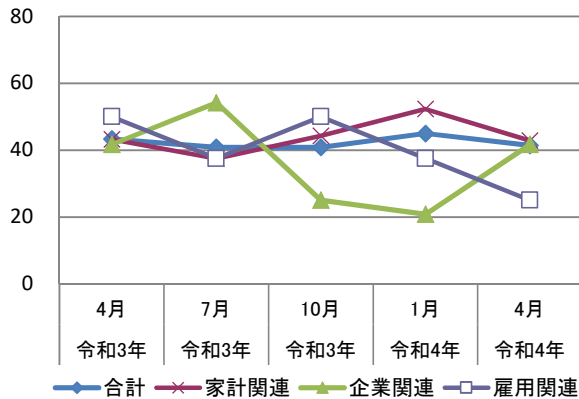
<津軽地区>

① D I

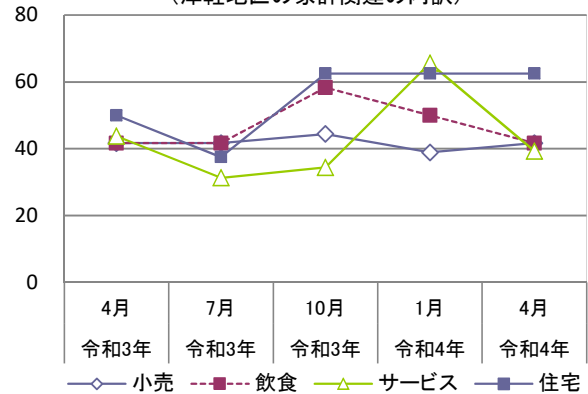
n = 29

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合計	43.3	40.8	40.8	45.0	41.4	▲ 3.6
家計関連	43.2	37.5	44.3	52.3	42.9	▲ 9.4
小売	41.7	41.7	44.4	38.9	41.7	2.8
飲食	41.7	41.7	58.3	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	43.8	31.3	34.4	65.6	39.3	▲ 26.3
住宅	50.0	37.5	62.5	62.5	62.5	0.0
企業関連	41.7	54.2	25.0	20.8	41.7	20.9
雇用関連	50.0	37.5	50.0	37.5	25.0	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



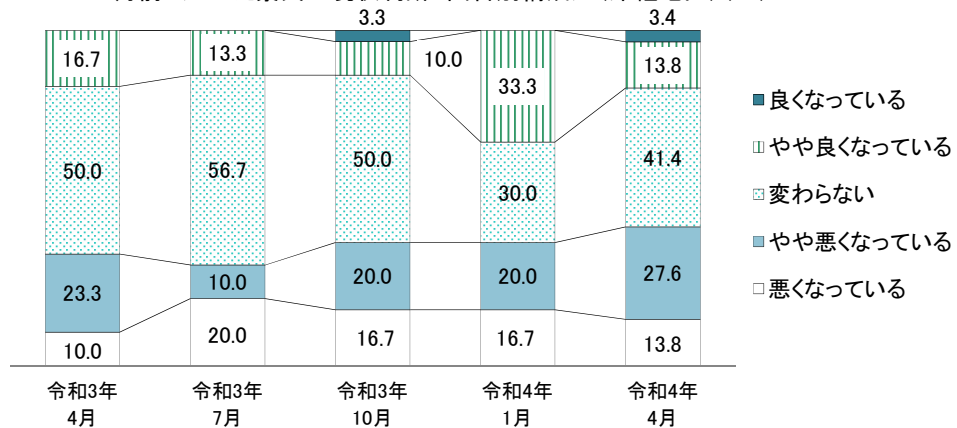
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	3.3	0.0	3.4	3.4
やや良くなっている	16.7	13.3	10.0	33.3	13.8	▲ 19.5
変わらない	50.0	56.7	50.0	30.0	41.4	11.4
やや悪くなっている	23.3	10.0	20.0	20.0	27.6	7.6
悪くなっている	10.0	20.0	16.7	16.7	13.8	▲ 2.9

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



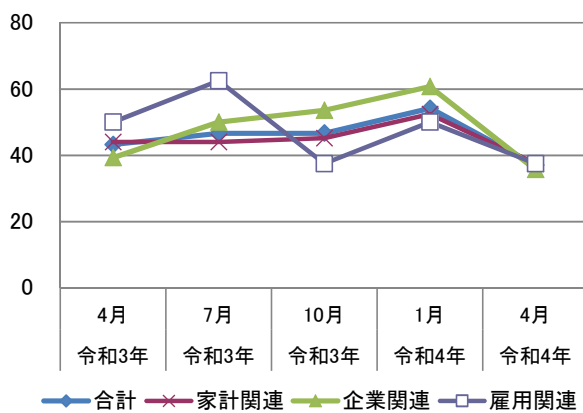
< 県南地区 >

① D I

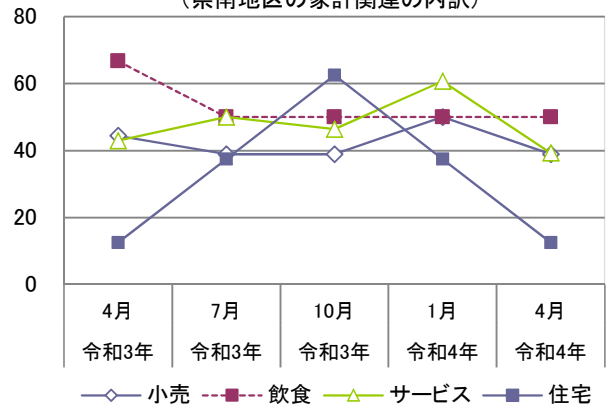
n = 29

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	43.3	46.7	46.7	54.2	37.1	▲ 17.1
家計関連	44.0	44.0	45.2	52.4	37.5	▲ 14.9
小売	44.4	38.9	38.9	50.0	38.9	▲ 11.1
飲食	66.7	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
サービス	42.9	50.0	46.4	60.7	39.3	▲ 21.4
住宅	12.5	37.5	62.5	37.5	12.5	▲ 25.0
企業関連	39.3	50.0	53.6	60.7	35.7	▲ 25.0
雇用関連	50.0	62.5	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



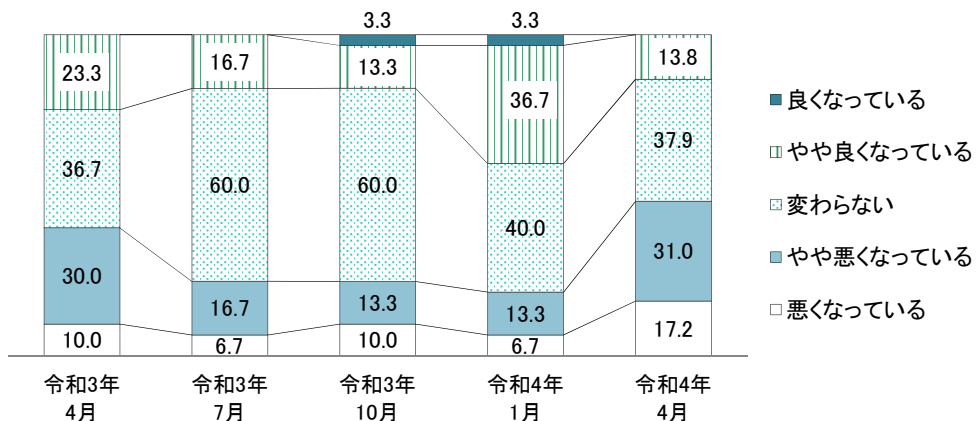
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなっている	23.3	16.7	13.3	36.7	13.8	▲ 22.9
変わらない	36.7	60.0	60.0	40.0	37.9	▲ 2.1
やや悪くなっている	30.0	16.7	13.3	13.3	31.0	17.7
悪くなっている	10.0	6.7	10.0	6.7	17.2	10.5

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)

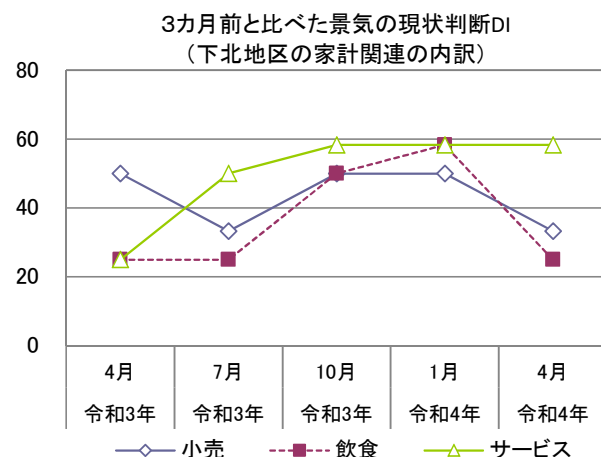
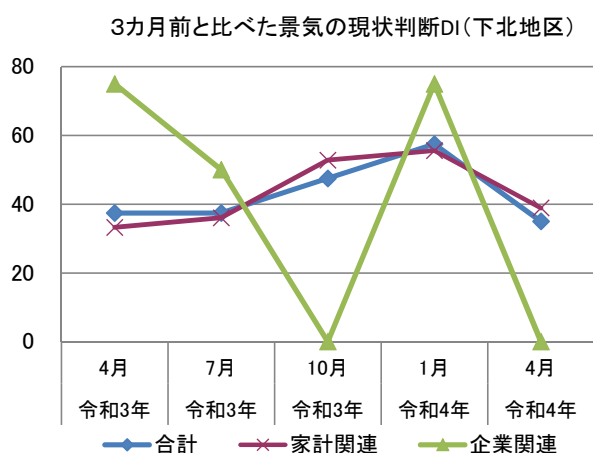


<下北地区> (参考)

①DI

n = 10

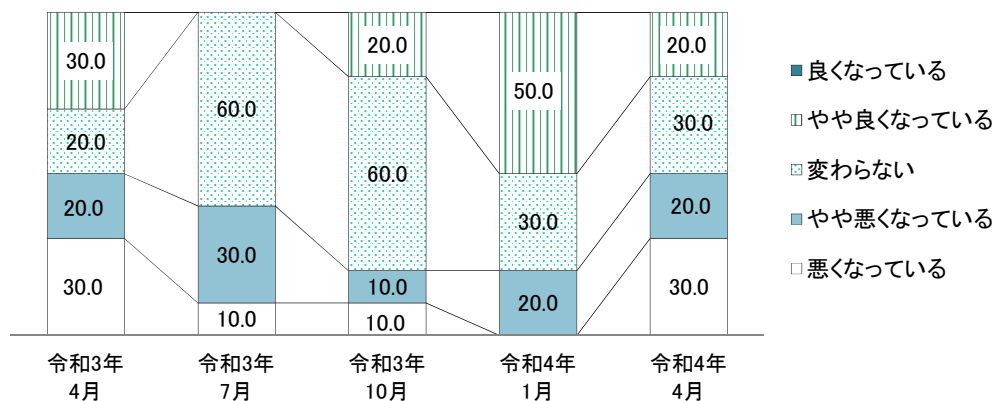
	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	37.5	37.5	47.5	57.5	35.0	▲ 22.5
家計関連	33.3	36.1	52.8	55.6	38.9	▲ 16.7
小売	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3	▲ 16.7
飲食	25.0	25.0	50.0	58.3	25.0	▲ 33.3
サービス	25.0	50.0	58.3	58.3	58.3	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	0.0	75.0	0.0	▲ 75.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	30.0	0.0	20.0	50.0	20.0	▲ 30.0
変わらない	20.0	60.0	60.0	30.0	30.0	0.0
やや悪くなっている	20.0	30.0	10.0	20.0	20.0	0.0
悪くなっている	30.0	10.0	10.0	0.0	30.0	30.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



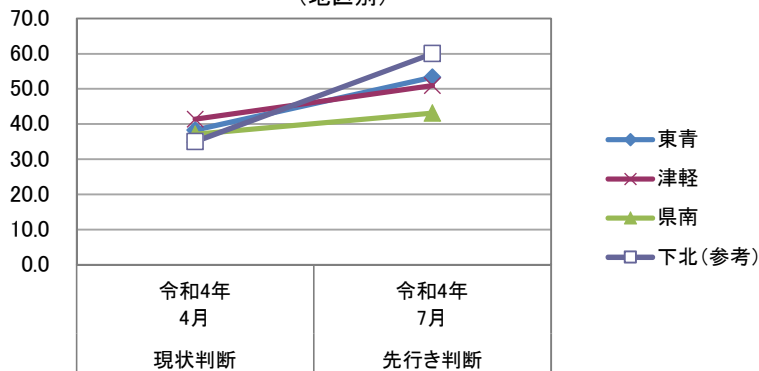
(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

	現状判断	先行き判断	差
	令和4年 4月	令和4年 7月	
合計	38.5	50.3	11.8
東青	38.3	53.3	15.0
津軽	41.4	50.9	9.5
県南	37.1	43.1	6.0
下北	35.0	60.0	25.0

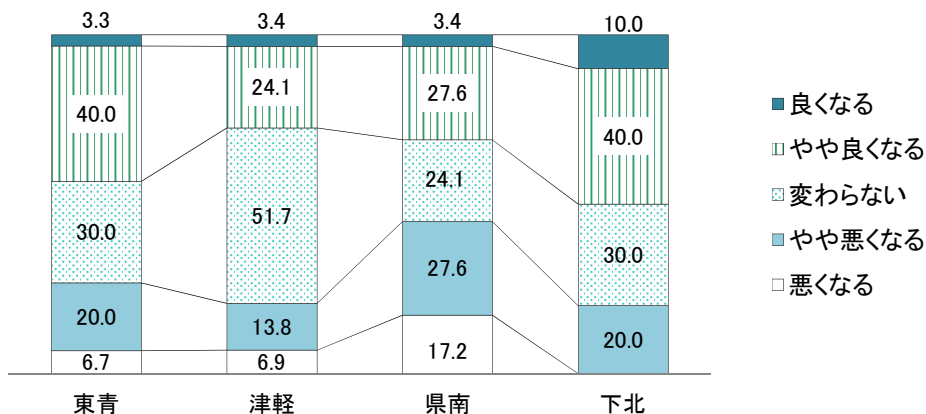
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	3.4	3.4	10.0
やや良くなる	40.0	24.1	27.6	40.0
変わらない	30.0	51.7	24.1	30.0
やや悪くなる	20.0	13.8	27.6	20.0
悪くなる	6.7	6.9	17.2	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比 (%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合 計	50.0	47.5	68.3	50.0	53.3	3.3
家計関連	54.5	51.1	68.5	51.1	55.4	4.3
小売	52.8	44.4	66.7	61.1	58.3	▲ 2.8
飲食	58.3	66.7	75.0	50.0	66.7	16.7
サービス	56.3	55.6	75.0	41.7	52.8	11.1
住宅	50.0	37.5	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	37.5	37.5	68.8	43.8	43.8	0.0
雇用関連	33.3	33.3	66.7	50.0	50.0	0.0

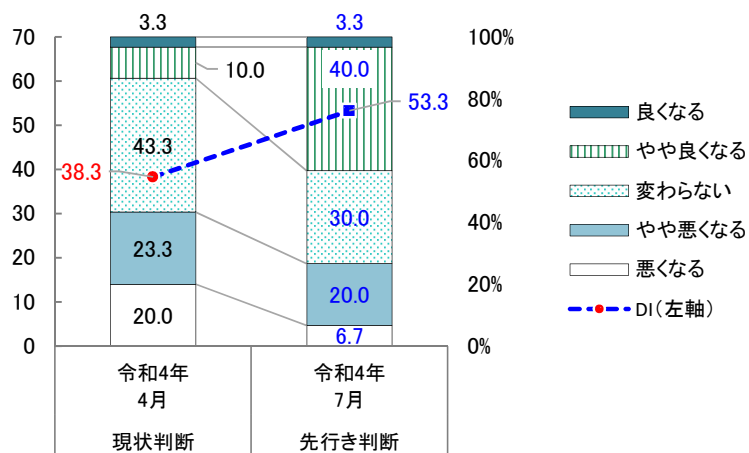
③ 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
合 計	38.3	53.3	15.0
家計関連	40.2	55.4	15.2
小売	44.4	58.3	13.9
飲食	0.0	66.7	66.7
サービス	47.2	52.8	5.6
住宅	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	31.3	43.8	12.5
雇用関連	33.3	50.0	16.7

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
良くなる	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	10.0	40.0	30.0
変わらない	43.3	30.0	▲ 13.3
やや悪くなる	23.3	20.0	▲ 3.3
悪くなる	20.0	6.7	▲ 13.3

現状判断と先行き判断との
比較(東青・合計)



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 29

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合 計	54.2	50.0	58.3	46.7	50.9	4.2
家計関連	53.4	50.0	63.6	48.9	48.8	▲ 0.1
小売	52.8	41.7	61.1	44.4	41.7	▲ 2.7
飲食	66.7	58.3	66.7	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	50.0	62.5	65.6	50.0	64.3	14.3
住宅	50.0	25.0	62.5	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	50.0	45.8	33.3	33.3	50.0	16.7
雇用関連	75.0	62.5	75.0	62.5	75.0	12.5

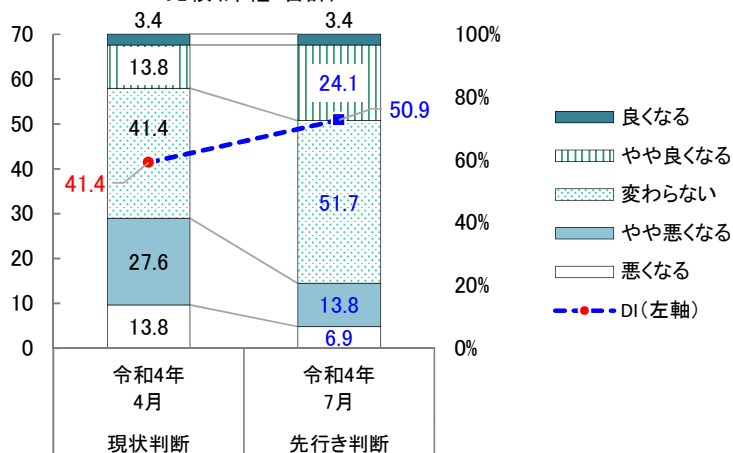
③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
合 計	41.4	50.9	9.5
家計関連	42.9	48.8	5.9
小売	41.7	41.7	0.0
飲食	41.7	41.7	0.0
サービス	39.3	64.3	25.0
住宅	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	41.7	50.0	8.3
雇用関連	25.0	75.0	50.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
良くなる	3.4	3.4	0.0
やや良くなる	13.8	24.1	10.3
変わらない	41.4	51.7	10.3
やや悪くなる	27.6	13.8	▲ 13.8
悪くなる	13.8	6.9	▲ 6.9

現状判断と先行き判断との
比較(津軽・合計)



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 29

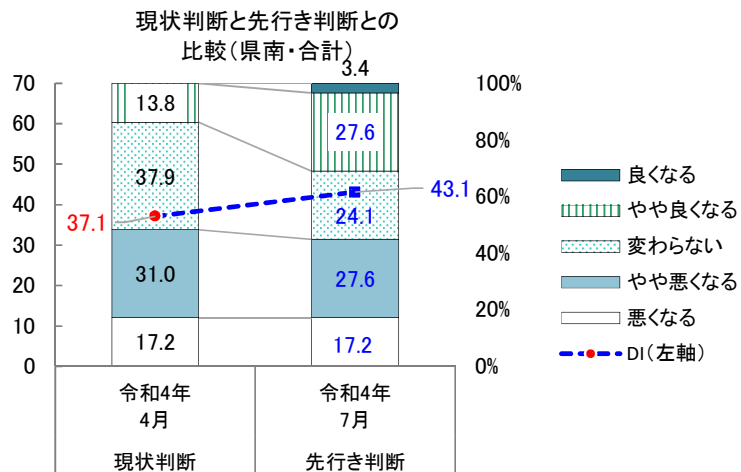
	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合 計	48.3	60.0	65.0	47.5	43.1	▲ 4.4
家計関連	52.4	57.1	65.5	47.6	47.5	▲ 0.1
小売	50.0	55.6	63.9	52.8	50.0	▲ 2.8
飲食	58.3	66.7	83.3	25.0	62.5	▲ 37.5
サービス	57.1	60.7	64.3	50.0	50.0	0.0
住宅	37.5	37.5	50.0	50.0	12.5	▲ 37.5
企業関連	35.7	64.3	64.3	42.9	32.1	▲ 10.8
雇用関連	50.0	75.0	62.5	62.5	37.5	▲ 25.0

③ 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
合 計	37.1	43.1	6.0
家計関連	37.5	47.5	10.0
小売	38.9	50.0	11.1
飲食	50.0	62.5	12.5
サービス	39.3	50.0	10.7
住宅	12.5	12.5	0.0
企業関連	35.7	32.1	▲ 3.6
雇用関連	37.5	37.5	0.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
良くなる	0.0	3.4	3.4
やや良くなる	13.8	27.6	13.8
変わらない	37.9	24.1	▲ 13.8
やや悪くなる	31.0	27.6	▲ 3.4
悪くなる	17.2	17.2	0.0



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 10

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合計	55.0	60.0	57.5	45.0	60.0	15.0
家計関連	52.8	58.3	55.6	47.2	63.9	16.7
小売	58.3	58.3	50.0	33.3	58.3	25.0
飲食	41.7	66.7	50.0	41.7	58.3	16.6
サービス	58.3	50.0	66.7	66.7	75.0	8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	75.0	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

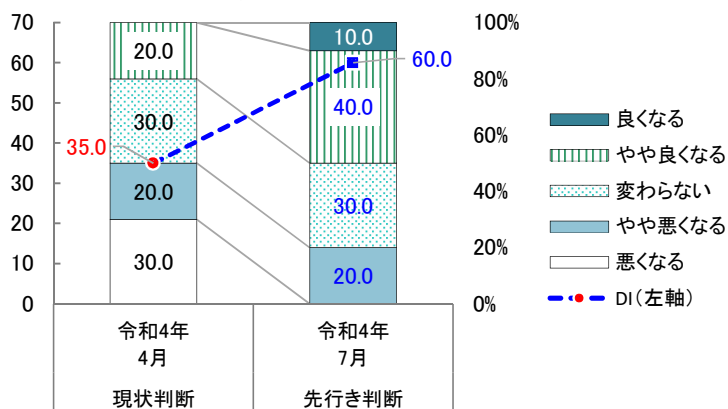
③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
合計	35.0	60.0	25.0
家計関連	38.9	63.9	25.0
小売	33.3	58.3	25.0
飲食	25.0	58.3	33.3
サービス	58.3	75.0	16.7
住宅	-	-	-
企業関連	0.0	25.0	25.0
雇用関連	-	-	-

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 4月	先行き判断 令和4年 7月	差
良くなる	0.0	10.0	10.0
やや良くなる	20.0	40.0	20.0
変わらない	30.0	30.0	0.0
やや悪くなる	20.0	20.0	0.0
悪くなる	30.0	0.0	▲ 30.0

現状判断と先行き判断との
比較(下北・合計)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	観光名所等	2月末まで休館していたため。
		津軽	設計事務所	来年度の仕事の依頼もあり休日返上でこなしている状態です。コロナで控えてたのがここにきて一斉に動いたという感じでしょうか。
やや良くなっている	家計	東青	娯楽業	3月の集客が多少であるが増えました。
			衣料専門店	単年度での売上に限れば良くなっている。
		津軽	商店街	まん防が終わったので、人が街を歩くようになっています。
			美容院	季節的な要因。
			観光名所等	前年比来客数が1.5倍になっております。
	県南	家電量販店	第3Qより第4Q前半の売上高前年比が改善している。	
		旅行代理店	ワクチン接種3回目が終わった方々が少し安心していることで、どこか旅行へ行きたいという気持ちになってきている。	
		衣料専門店	コロナウイルス感染者数が全国的にいったん落ち着きを見せ、イベント関連や公的行事も緩和され実施されるようになってきている。また、ファッション関係のアイテムの動きが良くなってきている。	
	下北	百貨店・スーパー	百貨店・スーパー	新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種が進み、経済活動が活性化する可能性があるため。
			百貨店・スーパー	お買い物時間が若干長めになってきてゆっくり買い物を楽しんでいただけるため購買数がのびている。
タクシー		1月はコロナの第6波がくる前で成人式等も行われ、明るい日常が戻ると思っていたが2月～3月はオミクロンと大雪で外出にも気が引けるような日々で、4月になり、当市はコロナが収まり、大学も開校し、新規事業も市役所内で開業され、少しずつ、上向きになっていると思う。		
企業	県南	飲料品製造	コロナ禍で県内の感染者数が高止まりしているものの、徐々に人も動くようになってきた。以前よりは商品の出荷数量なども回復してきた。	
変わらない	家計	東青	卸売業	飲食店への売上がまだ悪い。全体的に良くなっていない為。
			一般小売店	マンボウ解除で県内観光施設の営業が再開され、さあ、これから！の矢先の地震による東北新幹線の断線。陽性者数の数字は毎日のように記録更新。マインドも人流もアガっていない。
		観光型ホテル・旅館	東北・北海道の各道県においては、青森県を除いて既に「県民割キャンペーン」が実施されており、青森県だけが遅れを取っている状況である。もちろん感染状況が高止まりの状況であることが理由であるが、有効な具体策を実施できていない現状で青森県経済だけが回復遅れている。	
		都市型ホテル	3ヶ月前はコロナ感染者が一時的に減少し、観光需要が戻りつつあった時期、またあおりお出かけキャンペーンの影響で県内、市内のお客様に多くご利用いただきました。しかしながら年末年始、需要喚起対策を除くとコロナ前のような人の動きはあまり感じられません。	
		旅行代理店	景気が良くなっている実感が無い。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	設計事務所	今に至って市場景気は良くも悪くもありですが生活必需品の相次ぐ値上がりは我々の生活にダメージが少しずつこの先も覆いかぶさってきているのかも！
			住宅建設販売	以前より、住宅契約件数が、微増ながら伸びたため。最近では、モデルハウスへの来場数、商談数増加などの、傾向がみられないため。（春になったが…）
		津軽	スナック	蔓延防止重点措置が解除されましたが、まだコロナ感染者数は減少していない。
			乗用車販売	景気が停滞している。高額商品の買い控えが起きている。
			レストラン	どちらかという悪くなっている。当地区のみまん防の影響で、休業した為。
			衣料専門店	2年前から景気は良くなっていない。3ヶ月前も悪いから。
		県南	レストラン	相変わらず、市街に人がいない。閉店する大型店舗、なくなるイベント。このまま変わらないのではないかと不安である。
			百貨店・スーパー	コロナ罹患者が増え続けている為、飲食店関係のお客様の声は総じて厳しい。
			美容院	来店頻度が長くなっている。外出や交流が少ないためかも。
			一般飲食店	市でのコロナが中々減少しないことが大きな要因では。まだまだ続きそうであります。結果客足が伸びない、来店頻度の低迷につながっている。
	観光名所等		売上も例年並みであり、大きな変化はみられない。	
	卸売業		商品注文件数が増えていないので。	
	下北	ガソリンスタンド	コロナの感染が収まらず、依然としてこう着状態であるため。	
		一般飲食店	3ヶ月前と同様でコロナが出たと言えば街に出なくなりすこし回復ぎみとわかればいくらかは、足をはこぶ客もいるくらいです。	
		都市型ホテル	相変わらずコロナによる自粛ムードのまま、飲食を伴う会合はほぼ無いに等しい状況です。	
	企業	東青	広告・デザイン	新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着かず、ウィズコロナで経済を回す手法が始まったのが最近のため。
			建設	3か月前から業績が特に変わっていないため。
		津軽	経営コンサルタント	新型コロナウイルスまん延からずっと影響が大きい冠婚葬祭関係は未だに改善が見られないが、あまり直接影響を受けないであろう業種でも全体的に売り上げが下がっている傾向にある。一方市内のスーパーやドラッグストアの土日は、駐車場もいっぱい買い物客の人出は多い。
			広告・デザイン	悪い状況が続いている。工事物件が増えていない。見積り以来数が増えていない。
		県南	紙・パルプ製造	新型コロナウイルスの規制緩和はされているが、ロシアの侵攻問題により経済への不安。
電気機械製造			停滞のままで変わっていない感じです。仕事はあっても人手不足で仕事量が十分にこなせない会社が多い。	
広告・デザイン			2年以上に及ぶコロナ禍で、企業や商店も厳しい売上状況が続き、企業体力が落ちている。広告費も吟味され、昔の様に簡単に発注できないようだ。	

現状	分野	地区	業種	理由	
変わらない	雇用	東青	人材派遣	派遣求人を受注が減っており、長期勤務可能なものよりも官公庁の臨時職員等が増えている。	
		津軽	人材派遣	新型コロナ感染者数が相変わらず減少しないことで、外食、観光等外出を控える傾向が続く。	
		県南	新聞社求人広告	コロナ感染が高止まりしているため、イベント等が中止や延期の状況が続いているため。	
やや悪くなっている	家計	東青	美容院	コロナの感染人数によって日々、変わってます。	
			商店街	3か月前の社会状況に加えて、国内の動向だけでは左右できない、国際的かつ身近に影響の大きい読み切れない経済的不安要素が大きく加わった。海外生産の滞りによる物流ストップの影響も確実に大きくなり始め購入マインドのある顧客に対しても商品が供給できない事象が急激に増え始めた。3か月前の、やや希望の持てる先行き見通しとは現在明らかに状況が異なってきているため、この回答とした。	
			コンビニ	物価が値上りし客数も少ない。	
		津軽	都市型ホテル	コロナ第6波によるまん防等の影響により、予約業務がほぼキャンセルとなった。	
			ガソリンスタンド	個人消費の落ち込み。	
			一般飲食店	コロナ感染が減少傾向にないマスコミの報道で、市はまん延防止重点措置が解除になっても未だに客数が増えない。さらに、ロシアのウクライナ攻撃で多くの原材料・燃料価格が上がり、景気好転の兆しが見えてこない。	
			住宅建設販売	お客様の建築意欲があり、行動意識も高いが、資材高騰により、予算が合わず、先延ばしとなるケースがある。	
			コンビニ	マンボウがあけても人の動きが無い為。	
		県南	商店街	ロシア、ウクライナの問題が収束せず、長期化し物価等の値上がりが出てきている。また、蔓延防止の解除のため感染者が増加している。	
			娯楽業	コロナ感染症の増加に加え、原油価格・その他の値上げ、直接市民生活に影響があるものばかりです。景気も悪くなります。	
	一般小売店		原油高。ロシア、ウクライナ情勢。		
	ガソリンスタンド		エネルギー(石油製品、ガス、電気)、食料品、その他の商品の価格上昇により、家計の状況は厳しくなっている。		
	家電量販店		昨年と比較し、コロナ感染の影響もあり、来客数がやや減少している。		
	乗用車販売		コロナ禍の影響及び海外情勢の不安定さによる不安、原油高による食品、消耗品の値上げが悪影響している。		
	住宅建設販売		イベント自粛もあり展示場来場客が減少した。		
	下北	一般小売店	いろいろな商品の値上げが相次いでいるが、それに伴い給与が上がっているわけでもなく、みなさん消費に消極的だと思う。		
	企業	東青	食料品製造	水産業界は、非常に厳しい。水揚げも不安定で、コロナ禍で飲食業界のダメージがひたすら続いている。	
			津軽	食料品製造	あらゆる物の物価が高騰している。
			電気機械製造	仕事自体は新規モデルの生産がスタートしているため上向き方向にあるが、新型コロナウイルス・ウクライナ情勢・半導体不足等により先行きは不透明な状況である。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	企業	県南	建設	青森県はコロナ感染が一向に下火とならず、高止まりしていて、回復の兆しが全く見えていない。3月と4月は異動時期でありながら歓送迎会も行われない場合が多く、クラスターも毎日のように発表され、以前より悪くなっていると思われる。
	雇用	東青	新聞社求人広告	社会、経済が、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、コロナとの共生を模索しながら動きだしたところに、世界情勢が不安定になり、先行きが見通せなくなってきた。
		県南	人材派遣	当社は多数の業界と取引をしているが、コロナウイルスの影響に加えて、いよいよロシア・ウクライナ情勢の影響もじわじわと出ているように感じる。
悪くなっている	家計	東青	一般飲食店	飲食する環境をいろいろ考え整えても、世の雰囲気は依然それを赦すようにならず、一喜一憂、日々の動向に左右されるのみだ。
			家電量販店	多方面での物価上昇に伴い、個人商品の冷え込みが目立っております。
			レストラン	ようやく、長い冬が終り、これから春か来ると……コロナが、へらない!!
			スナック	悪いです。3月4月は歓送迎会の時期で毎年多忙でしたが今年で三度目の厳しさには大変です。期待外れの毎日です。
			タクシー	個人も企業もほぼ一様にコロナ禍の長期化で疲弊している事に加え、原材料費の高騰による諸物価の値上げに関する否定的な言葉を社内従業員やお客様からの生の声としてよく耳にするようになった。
	津軽		百貨店・スーパー	食品、灯油、ガソリン等、物価の高騰。
			一般小売店	令和4年1月期の回答で、11月・12月がコロナ感染者が減ってきて景気もどりつつあるも、1月に入り、コロナ感染が急拡大しつつあるのと、大雪で景気が悪化しないか心配であると回答したが悪い方へ予想が当たった。
	県南		タクシー	昨年度末、今年度の初めはコロナも落ち着いて、これからはいいぞ頑張れるぞと思った矢先、「オミクロン」。再び逆戻り。皆さん今まで以上に注意深くなった。
			設計事務所	物価の上昇に社会のシステムが追いついていない。
			コンビニ	異常と思える程のコロナ感染者数のため。
	下北		コンビニ	新型コロナが終息しないから。
	企業	東青	経営コンサルタント	ロシアによるウクライナ侵攻で原油価格の高騰、小麦等の価格上昇があり、今年2月に入ってから石油関連製品、食料品の値上げが顕著であり、様々な業種に影響がでている。
			県南	経営コンサルタント
		食料品製造	モノの価格が全て上昇している。	
下北		食料品製造	コロナ、3回目の春を迎えました。私もそうですが、皆様も疲れてきているのでは。	
悪くなっている	雇用	津軽	新聞社求人広告	原油高やウクライナ情勢による輸入原材料の高騰で地域経済が冷え込んでいるほか、食料品の相次ぐ値上げで個人消費が落ちている。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	観光名所等	桜、GW、グリーンシーズンと観光需要が回復してくると思う。
		県南	衣料専門店	三回目のワクチン接種も進んで、現在よりもコロナウイルス感染に関して落ち着きを見せ、様々なイベント等が実施されるようになり、お客様の動きが活発になり状況が良くなる事は間違いないと思われます。
		下北	タクシー	コロナワクチン接種により、重症化が減り、さくらまつり、ねぶた祭りの開催等でにぎやかになり、ゴールデンウィークやお盆等の人の流れも通常に戻っていくのでは？…と思うから。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、観光・行楽で人の往来が活発化するというから。
やや良くなる	家計	東青	乗用車販売	ねぶたが開催される予定の為。
			コンビニ	天候も良くなりイベント等少し増えてくるので。
			一般飲食店	夏に向けて流石にワクチンなど接種も進んでと思うので、いくらかおちつくのかという儂い望みから。
			美容院	これは、良くなってほしい望みからです。
			観光型ホテル・旅館	弘前さくらまつりや青森ねぶたなど、昨年と変わって実施の方針を打ち出していることは良いメッセージになっていると思う。実際、4月後半の時期はキャンペーン等何も無いにもかかわらず一定程度の予約は入っている。
			一般小売店	ネガティブ要素は変わらず多いが、期待を込めて。
			百貨店・スーパー	規制緩和。今後コロナ禍でも行事や観光にも期待。
			衣料専門店	お客様の行動範囲が広がっていると感じる。式典(卒入学)、会合、出張などでの需要が増えている。
			レストラン	花見や県外の観光客に期待したい。
			都市型ホテル	桜シーズン、GWと人の動きが活発化し、ビジネスの動きも出てくる時期に入りますので、期待を込めてやや良くなると回答しました。コロナ第7波によって今後も大きく左右されると見えています。
	津軽	コンビニ	さくらまつりが開催される事と入学シーズン。	
		商店街	さくらまつりが開催されるから。	
		観光名所等	さくらまつりはコロナ禍なれど開催。御酒の提供やノンアルコールは禁止。遠隔地からの来訪予約もあるが様子見。インバウンド客は入国できず。国内就労外国人、在日駐留アメリカ人。「わ」ナンバーの車両が目立つ。社内では、2月から昇給実施3パーセント以上。	
		旅行代理店	新型コロナウイルス感染症が減少する事を期待して。	
		都市型ホテル	ワクチン、経口薬等に期待している。	
		県南	タクシー	コロナの規制も解除されて、少しは良い方向に向かってもらいたい。
百貨店・スーパー	新型コロナウイルスに対する新薬の開発が進み、コロナと共生できる可能性があるため。			
美容院	コロナ規制もゆるくなり、新社会人や新成人(18才)の活動に期待しています。			

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計	県南	一般飲食店	気候も良くなりウキウキしそうな環境なので、コロナが落ち着くとぼちぼち人出がふえるかも。
			家電量販店	GOTO再開で帰省客増に期待。
		下北	ガソリンスタンド	ワクチンの3回目接種が終わり、コロナが落ちついてくれればと希望と期待を込めて。
			コンビニ	そろそろ終息しそうだから。
			百貨店・スーパー	季節がよくなり外出機会が増えることによりお買物頻度が増加しお店にも活気が増してくる。
	企業	東青	経営コンサルタント	一時期原油の先物価格が1バレル当たり120ドル以上にはね上がったが4月上旬には100ドル前後に下がりつつある。県内では今後家庭での灯油の使用量は下がり、3ヶ月後には政府の物価高騰に対する政策により、現在よりも景気は回復すると考えられる。
			県南	広告・デザイン
		飲料品製造		移動の制限などいままでは対しての反動、コロナ禍に対しての慣れなどで正常化は進みそうな感じはする。観光など人の動きは出てくるだろうし、イベントごととも徐々に増えてきそうだ。
	雇用	東青	人材派遣	3回目のワクチン接種が進み、経済活動が活発になると考えられるため。
	変わらない	家計	東青	卸売業
商店街				今現在、さまざまな不安要素が加わり並び、その影響も大きく出はじめている。これは、3か月前には読めなかった事態。現在の事態に未だ明るい見通しが見えない以上、3か月先を明るいとは言えず、しかし、何らかの急転直下の解決がないとも言えず、正直「変わらない」ではなく「わからない」としたいところ。
娯楽業				一時的に回復基調にあると思いますが、GoToトラベルが再開して人が動くことによって物が動き、お金が動き仕事が活性化するまでは景気の回復は無理だと思います。
設計事務所				建築主用資材（木材、鉄鋼材、コンクリート材）及び一般消費材が昨年より高騰しておりこの先もまだ続く見通しです。この先の市場景気に大きく左右するよう思われます。
スナック				変らずの不景気にはどうしたら良いのか見当が付きません。耐えて、それなりに頑張るしか有りませんが何時まで続くのでしょうか!!
百貨店・スーパー				コロナ罹患者が高止まりしているが、慣れてしまってる背景もあり。今後もこの生活スタイルは変わらないと考えるため。
津軽				設計事務所
		乗用車販売	よくなる要素が見当たらない。	
		レストラン	良くなる見込みがない為。	
		ガソリンスタンド	新型コロナウイルス感染症の終息がまったく予想出来ない。	

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	スナック	さくらまつりやゴールデンウィークがあるけれどもコロナに感染したくないと思ってるので景気回復には繋がらない。
			衣料専門店	コロナ禍が継続しているから。
			衣料専門店	3ヶ月前も悪いから。
		県南	一般小売店	原油高、ロシア・ウクライナ情勢の問題が簡単には解決しそうに無いから。
			観光名所等	特に効果が見えない。
			卸売業	コロナ感染者数が減らないため。
			レストラン	悪くならないでほしい。3ヶ月先は良くなってほしい。
		下北	都市型ホテル	おでかけキャンペーンの再開等、期待はするものの、まだまだ時間がかかりそう。
			一般飲食店	お昼は90%もどりつつあるが夜は全然ダメで宴会もまだ出来ない状態です。
	スナック		コロナの感染状況によるので、わからない。	
	企業	東青	広告・デザイン	現在、第7波が騒がれ始めてきたため。
		津軽	広告・デザイン	良くなる様な要素が無い。
			電気機械製造	仕事自体は新規モデルの生産がスタートしているため上向き方向にあるが、新型コロナウイルス・ウクライナ情勢・半導体不足等により先行きは不透明な状況である。
			経営コンサルタント	冬が終わりさくらまつりやねぶた祭りも控え、5月6月の各種総会やイベントも開催予定となっている。新型コロナウイルスの3回目予防接種も徐々に進んできており、各自感染対策も徹底している。そのうえで、人中出现る人は出るし、仕事上でれない人は出ないし、その理解も進んでいる。物価の上昇が徐々に景気に影響を与えると思うが、仕入価格が上がる分販売価格に転嫁でき、従業員の給与額の上昇にうまく繋がって欲しいと願っている。
食料品製造			今の状態が当分続くと思われるから。	
県南	紙・パルプ製造	新型コロナへの不安が払拭されていない。ロシア侵攻問題の長期化への不安。		
雇用	津軽	人材派遣	やはり鍵を握るのは新型コロナ感染者数の動向。感染者数の高い状態で横ばい状態が続いている。	
	県南	新聞社求人広告	3回目のワクチン接種が進んでいるが感染が収束するか見極められないため。	
やや悪くなる	家計	東青	旅行代理店	ガソリンの高騰や、食品等の値上げで消費の落ち込みが予想される為。
			ガソリンスタンド	コロナ感染者数の高止まりとロシアの軍事侵攻による物価の上昇が消費行動を抑制すると思われる。
		住宅建設販売	コロナの第7波の影響が心配。ウクライナ戦争の影響が今後、及ぶ可能性があるため。	
	津軽	家電量販店	商品の供給不足が続いている。	
		住宅建設販売	資材高騰が止まらないので。	
		美容院	ウクライナ情勢の影響が出はじめる頃。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	県南	ガソリンスタンド	依然としてコロナ感染症罹患者数は高止まりの状況であり、経済活動も活発化にはほど遠く、物価の上昇もあることから。
			住宅建設販売	展示場来場客の減少は数か月後の契約客の減少につながるから。
			乗用車販売	コロナ禍の影響及び海外情勢の不安定さによる不安、原油高による食品、消耗品の値上げが悪影響している。
			旅行代理店	ゴールデンウィーク、お盆、夏休みなどで人の動きが活発になることでウイルス感染が広がるかもしれないから。
			商店街	状況が好転するとは思えないから。
	企業	東青	食料品製造	世界情勢の影響が出始めている。
		県南	電気機械製造	電気代と燃料の高騰は、当社を含め近隣の取引先にも収益悪化となり経済活動に響くと思われる。
		下北	食料品製造	恐らく、花見シーズンを迎え、それなりに人は動くでしょうが、その後がまたこわい。
	雇用	東青	新聞社求人広告	新型コロナウイルスの影響から徐々に抜け出すことができればいいが、そう簡単かつ早急にはできないように思う。さらに、世界情勢の不安定な状況が続いた場合、なおさら好転は望めないと思う。
		県南	人材派遣	コロナウイルスの影響に加えてロシア・ウクライナ情勢の影響もこれまで以上に出てくると考えます。特に原材料・燃料の高騰になどは多数の業種・業界に影響を及ぼすと感じます。
悪くなる	家計	東青	家電量販店	昨年から続いている水道光熱費の値上げに加え、ロシアのウクライナ侵攻に影響される納期遅延や供給難がしばらく続くことが予測され、今後益々の物価上昇による個人消費の冷え込みが懸念されます。
			タクシー	こんな時に戦争などという愚かな行為を行っている国が現実にあることが、更に人々の気持ちを暗く重い方向へと追いやっている。誠に残念ながら明るい話題が何一つとして聞こえてこない。
		津軽	百貨店・スーパー	国内資源不況。
			一般小売店	コロナ感染者が減らないのには慣れてきたものの、ウクライナの惨状は気が滅入ってしまう。あれを見て気持ちが晴れる人はいないであろう。消費マインドは萎むとしか思えない。
		県南	設計事務所	コロナと戦争のため。
			コンビニ	ガソリン等燃油価格の高騰、原材料の価格上昇、物価の上昇。
		企業	県南	経営コンサルタント
	食料品製造			モノの価格が全て上昇しているから。
	建設			かつてないほどのインフレに向かっていると思う。金属、木材、食料、燃料、生活用品、輸送費など、コロナの影響のほかにロシアとウクライナの戦争により、すべての物流が影響を受けている。多くの企業ではベースアップしたとの報道がなされていたが、生活用品や食料品、原油の高騰などで、実質賃金は向上していないのと同じ。

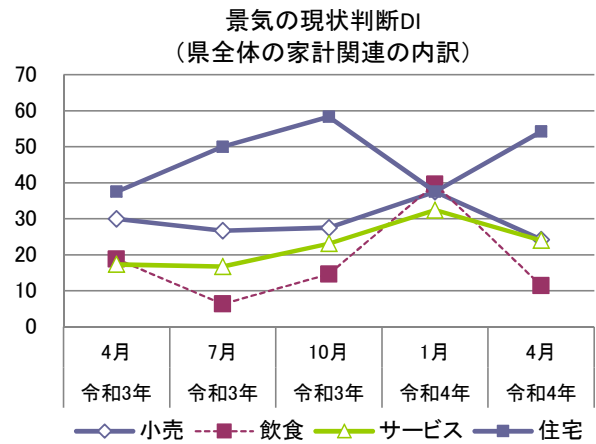
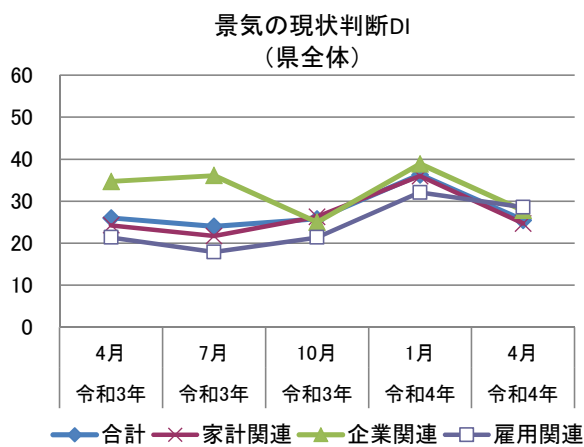
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

① D I

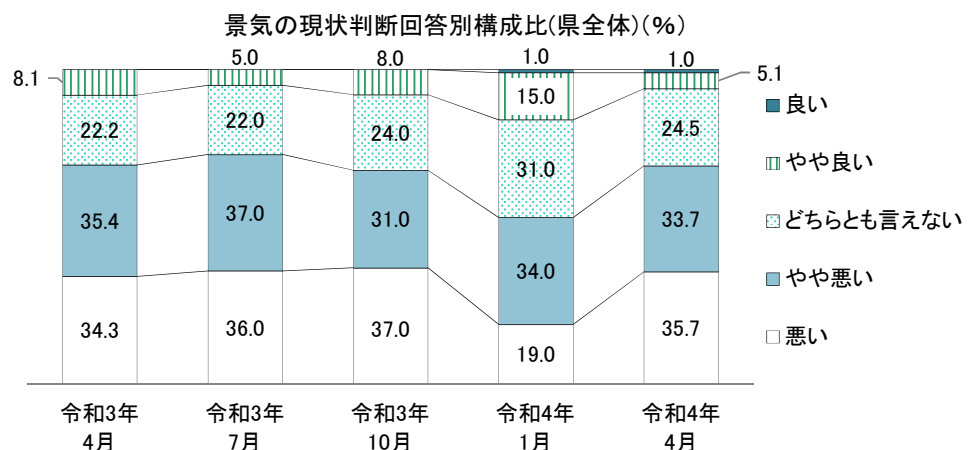
n = 98

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合計	26.0	24.0	25.8	36.3	25.5	▲ 10.8
家計関連	24.3	21.7	26.3	36.0	24.7	▲ 11.3
小売	30.0	26.7	27.5	37.5	24.2	▲ 13.3
飲食	18.8	6.3	14.6	39.6	11.4	▲ 28.2
サービス	17.3	16.7	23.1	32.4	24.0	▲ 8.4
住宅	37.5	50.0	58.3	37.5	54.2	16.7
企業関連	34.7	36.1	25.0	38.9	27.8	▲ 11.1
雇用関連	21.4	17.9	21.4	32.1	28.6	▲ 3.5



② 回答別構成比 (%)

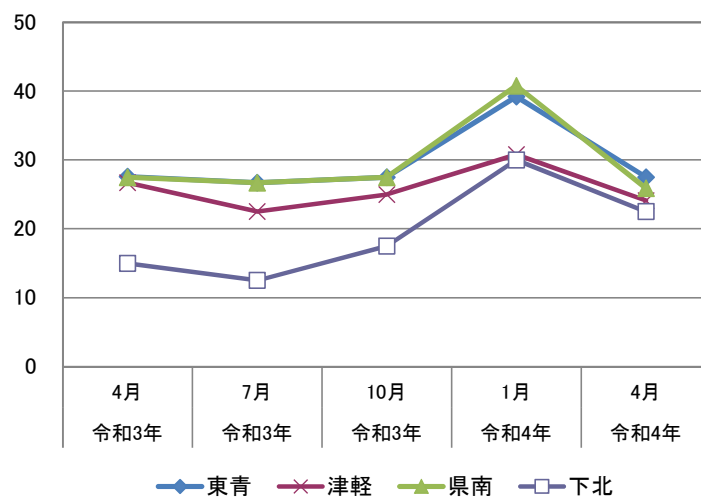
	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
良い	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0
やや良い	8.1	5.0	8.0	15.0	5.1	▲ 9.9
どちらとも言えない	22.2	22.0	24.0	31.0	24.5	▲ 6.5
やや悪い	35.4	37.0	31.0	34.0	33.7	▲ 0.3
悪い	34.3	36.0	37.0	19.0	35.7	16.7



③地区別DI

	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	前期調査 との差
合 計	26.0	24.0	25.8	36.3	25.5	▲ 10.8
東青	27.6	26.7	27.5	39.2	27.5	▲ 11.7
津軽	26.7	22.5	25.0	30.8	24.1	▲ 6.7
県南	27.5	26.7	27.5	40.8	25.9	▲ 14.9
下北	15.0	12.5	17.5	30.0	22.5	▲ 7.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	百貨店・スーパー	地元でのGWイベント、マラソン大会等。
		衣料専門店	行政公共施設の再開、ねぶた祭り、桜祭りなど各種イベントの開催、市プレミアム商品券発行などの報道に接し経済活動が活発化し消費行動が上向くと考える。
		商店街	海外での様々な動きの変化により、以前にも滞り気味だった商品生産及び入荷がはっきりと滞り出しており、顧客の要望に応えられない事象が急増しだしている。また、価格も上がり出している。
		卸売業	コロナ自宅療養への対策で加工食品の注文が多くなっている。
		一般飲食店	蔓延防止措置の延長はとても厳しい打撃であった。効果も疑問であったが、行政も苦慮されたのかとも思う。
		レストラン	今年の冬は、とても雪が多く雪害もあり、コロナとWパンチ!しかし春が来て期待していたのに、コロナがへるどころか増え続けたので、お客さんが外出しないし、地震で新幹線が止まり、全然人の動きがなかった。
		スナック	一番の原因はコロナ禍ですね。
		都市型ホテル	3月からビジネスでの宿泊が活発化してきたように見受けられます。観光についてはまん延防止措置があったことから、4月のお花見ツアーなどの動き出しがおそく、思ったように集客できていない状況です。
		美容院	私はコロナにならぬよう気をつけて生活していますが、2回もかかって平気で生活しているのはどうでしょうか。一度かかった人は、かかっても治るといって普通になっている、これもどうでしょうか――?
		娯楽業	いつも車で移動していますが、平日もそうですが、特に土曜、日曜の渋滞が少なくガソリン価格の上昇で不要の外出を控えているような気がします。
	住宅建設販売	ウッドショックの継続で、木材価格高騰中。住宅資材・建材の値上げラッシュ。コロナによる、納期遅延の継続。	
津軽		百貨店・スーパー	コロナ禍による行事の中止が目立つ。
		衣料専門店	結婚式や出張などで若干スーツが売れてきた。
		家電量販店	資材・商品そのものの値上がりを受けて、消費に足踏み感がある。
		観光名所等	1月に市内で大規模な主な社長・会長・有名人参加の会合あり。司会者より席立たないよう何度も繰り返し放送あり。乾杯が終わったら途端に新年の挨拶。司会が幾ら放送しても…その後ウクライナ・ロシア戦争の状況によりガソリン・燃油はもとより各種物価、運賃や小麦などはもとより包装資材段ボールなど値上がり著しい。地域銀行統合、宮城・福島沖震度6強、東北新幹線脱線、航空各社増便、空港利用者増加?
		旅行代理店	少しづつ飲食を伴う会合が出てきている。
		設計事務所	弘前の桜まつりを実施することに決定しましたが今年は昨年より他県の観光客が増えると思います。一気に感染者が増えることによってまたマンボウになったらどうしようと心配しています。
県南		コンビニ	製造業において、部品等が入って来ず、生産に影響しているとの事。
		百貨店・スーパー	市中心街の大型店舗が閉店した後の中心街の空洞化が心配です。先に報道があった商業ビルの進展次第で、既存ビルが無くなってしまうのか心配です。(一方で)市中心街の道路の行方が楽しみです。改善が進み、人が歩きたくなるような街になることを期待しています。(また、)ガソリンや電力料金の高騰が家計や企業を圧迫しています。代替エネルギーの開発が進み、安価に一般に拡がることを期待しています。
		衣料専門店	中心街にあった大型店舗が閉店を発表した。地域を代表する店舗として、中心街商店街の買物環境を守り文化を守っていく。今後、中心商店街のランドマークとしての認知・地位を確立していく。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	家電量販店	電気、ガス、ガソリン、食品などの値上げから購買意欲が減少しなければ良いと思います。省エネ家電を提案していく。
		一般小売店	市中心街最大規模の老舗百貨店が閉店した。
		商店街	地元の老舗大型店舗が閉店してしまう。
		美容院	TVでのウクライナの状況を見ていて、物価高も有り、経済の動向が気になります。
		設計事務所	全ての原価が上昇している。
		住宅建設販売	物価上昇にともない節約している人が回りに増えているように思えます。車通勤が徒歩や自転車に変わった。外食を控えるようになった。
	下北	コンビニ	玉錢をかきあつめて支払いをする高齢者が多い。
		一般飲食店	オミクロンになってから当市はなぜか毎回のよう数字が出て減ることを知らなくなってしまうような気がします。
		タクシー	市内循環バスが運行されます。1年の試験運行ですが、他のルートを増やす等続くようになればいいと思う。
		ガソリンスタンド	原油価格の高止まりで、会計や、会社の経費を圧迫している。ガソリンも買い控えが出ています。
企業	東青	食料品製造	残念なことです。廃業する会社がある。
		建設	建設資材の値上り率はかなり高くなっています。(20年間経験がありません)
		経営コンサルタント	今年に入ってからガソリン・灯油・穀物関連は値上がりが続く、半導体不足による製品納入の遅れが続いており、住宅設備関係では仕入価格は2割～3割上がっていることも踏まえ、通常在庫を増やす傾向にある。食料品関連の小売業は、仕入値の上昇により売価を上げているが、粗利は充分にとれていない。
	津軽	食料品製造	ロシアのウクライナ侵攻による経済への大きな影響が、経営の根管にも及ぼしている。
		飲料品製造	取引先への間取りでも資材等の高騰で大変厳との事でした。
		建設	コロナ感染による休業が回りに出て来た、不安。1人、2人が休業になると実際近くの人が大変。県内の(感染者)人数が600人台を超えるようになってきた。止めようがないのか。ロシアのウクライナ侵攻に伴い、経済悪化が、世界、日本、青森に迄、およぶ事になるとは…。一日も早く終わってほしい。戦争はよくない。コロナも早く終わってほしい。
		広告・デザイン	企業、家族問わず、全てが守りに入っており全く、先行きが不安。
	県南	建設	4月から多くの商品が値上げするとの報道で、3月中の安いうちに購入する人が多く見られ、3月では一時的に消費が増えたと思う。自分も数万円から数十万する高額な商品は、値上げ前の3月中に先行購入して経費を節減した。
		広告・デザイン	コロナ禍において業績が悪化。会社を継続させるために金融関係から融資を受けたいが、条件等で受け入れてもらえない。条件なしではと言わないが、社歴等を加味して、融資条件をもっと低くして欲しい。
		下北	食料品製造
雇用	東青	人材派遣	感染者が高止まりしており、食事のみの出足はあるように感じるが、飲酒を伴う出足はまだ少なく、飲食店自体の他、関連企業への影響が長期間にわたっておりそういった企業の求人オーダーが少なくなっている。
		新聞社求人広告	観光客らしき人の姿が目立つようになりました。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、娯楽業、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由

② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166 (直通)

fax : 017-734-8038